

# 記入例

第37号様式その2 (第49条関係)

報告対象年度 (前年度) の和暦を記入

受託量、運搬量、引渡量はすべて  
t (トン) に換算して記入

(表面)  
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理実績報告書 (〇〇年度)  
【中間処分業・最終処分業】

提出日を記入 (現年度)  
〇〇年 〇月 〇日

越谷市長 宛

実績がない場合

実績なし

住所 〇〇県〇〇市〇〇1-1  
氏名 株式会社〇〇

受託者の欄は、処分によって生じた廃棄物を委託  
した処分業者を記入し、※欄に「残」と記入  
(再委託をした場合は裏面参照)

〇〇 〇〇  
所在地、名称及び代表者の氏名  
〇〇-〇〇〇〇

※1欄には委託者の業種コードを記入  
(別表1参照)

越谷市の許可番号を記入

〇〇年度の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処分実績について、越谷市産業廃棄物の処理及び再利用に関する規則第49条第3項の規定によります。

※4欄には処分方法コードを記入 (別表4参照)

許可の種類	産業廃棄物中間処分業 (焼却、破碎)			許可年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			許可番号	121XXXXXXX			
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類	委託者 (排出事業者又は処分業者)			処分			受託者					
	許可番号	氏名又は名称	受託量 (単位 t)	※	処分方法	処分量 (単位 t)	処分後量 (単位 t)	許可番号	氏名又は名称	委託内容	委託量 (単位 t)	※
住所			処分場所			住所						
廃プラスチック類 ※3 06	A化学(株) ※1 A4		50 t	※	焼却 ※4 1	50 t	2 t	xxxxxx	(株)E処分	管理型埋立	2 t	残
	越谷市〇〇1-2 ※2 53											
がれき類 ※3 16	B建設(株) ※1 A1		200 t	※	破碎 ※4 1	200 t	0 t			売却	t	
	さいたま市〇〇1-3 ※2 11											
がれき類 ※3 16	(株)C建設 ※1 A1		100 t	※	破碎 ※4 1	100 t	0 t			売却	t	
	越谷市〇〇1-4 ※2 53											
がれき類 ※3 16	(株)Dホーム ※1 A1		100 t	※	破碎 ※4 1	100 t	0 t			売却	t	
	草加市〇〇1-5 ※2 11											

※3欄には廃棄物の種類コードを記入 (別表3参照)

※2欄には住所の都道府県コードを記入 (別表2参照)  
越谷市は「53」、越谷市以外の埼玉県は「11」

処分後量の欄は処分によって生じた廃棄物の量を記入  
※処分後に全量再生利用する場合は「0」

再委託をした場合は「受託者」欄のみ記入し、  
 ※※欄に「再」と記入（「処分」欄は空欄）

(裏面)

産業廃棄物・ 特別管理産業 廃棄物の種類	委託者（排出事業者又は処分業者）				処分			受託者					
	許可番号	氏名又は名称	受託量 (単位 t)	※	処分方法	処分量 (単位 t)	処分後量 (単位 t)	許可番号	氏名又は名称	委託内容	委託量 (単位 t)	※	
	住所		処分場所			住所							
木くず ※3 08		㈱H建設工業※1 越谷市〇〇1-6 ※2	A1 53	30 t	※4			××××××	F 処分(有)	焼却	30 t	再	
							※2	上尾市〇〇4-1 ※2	11				
木くず ※3 08	××××××	㈱I 処分 ※1 川越市〇〇1-7 ※2	11	50 t	再	焼却 ※4 1	50 t	2 t	××××××	(有)G 処分	管理型 埋立	2 t	残
								越谷市〇〇2-1 ※2	53	高崎市〇〇5-1 ※2			
※3		※1		t		※4					t		
※3		※2		t			※2			※2	t		
※3		※1		t		※4					t		
※3		※2		t			※2			※2	t		
※3		※1		t		※4					t		
※3		※2		t			※2			※2	t		

再委託を受けた場合は、当該事業者の  
 許可番号を記入し、※欄に「再」と記入

備考

- この報告書は、前年4月1日から3月31日までに処分した産業廃棄物の量を記載して6月30日までに提出すること。
- 委託者とは、報告者に処分を委託したものをいい、排出事業者から委託を受ける場合と処分業者から再委託を受ける場合があること。なお、処分業者からの再委託である場合は、※欄に（再）と記載すること。
- 受託者とは、報告者が処分を委託した者をいい、処分により生じた産業廃棄物の処分を委託した場合にあっては※※欄に（残）と、処分を再委託した場合にあっては（再）と記載すること。
- 産業廃棄物の処理施設の処分実績については、処理施設で処分した量を別紙に記入し、添付すること。
- 処分した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載すること。  
 [ ※1は別表1（業種分類）、※2は別表2（都道府県）、※3は別表3（種類）、※4は別表4（処理方法）を参照のうえコード番号を記入のこと。]  
 数量を記入する欄ではtに換算して記入すること。（品目別重量換算係数一覧参照）

# 記入例

報告年度（前年度）の和暦を記入

処分後の産業廃棄物の処分量の欄は  
処分によって生じた廃棄物について記入

別紙

産業廃棄物の処理施設における処分実績報告書（〇〇年度）

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理施設の種類	処分した産業廃棄物の種類及び年間処分量（単位 t）				処分後の産業廃棄物の処分量（単位 t）			
	A廃プラスチック類 ※3 06	A木くず ※3 08	Aがれき類 ※3 16	A ※3	種類 ※3	排出量	処分方法 ※4	処分量
廃プラスチック類の焼却施設 ※5 08	50 t	t	t	t	燃え殻 ※3 01	2 t	委託管理型埋立 ※4	2 t
がれき破碎施設 ※5 09	t	t	400 t	t	製品 ※3	t	売却 ※4	t
木くず焼却施設 ※5 16	t	50 t	t	t	燃え殻 ※3 01	2 t	委託管理型埋立 ※4	2 t
※5	t	t	t	t	※3	t	※4	t
※5	t	t	t	t	※3	t	※4	t
※5	t	t	t	t	※3	t	※4	t
合計	50 t	50 t	400 t	t		4 t		4 t

※5欄には施設コードを記入（別表5参照）

※3欄には廃棄物の種類コードを記入（別表3参照）

※4欄には処分方法コードを記入（別表4参照）

備考

- 1 処分した産業廃棄物の種類をA欄に記入して、それぞれの種類ごとに年間の処分量を記入すること。
- 2 処分した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、A欄にその旨を記載すること。

※3別表3の産業廃棄物の種類コードを参照して、種類コードを記入すること。  
 ※4別表4の処理方法コード表を参照して、処理方法コードを記入すること。  
 ※5別表5の産業廃棄物処理施設一覧表を参照して、施設コードを記入すること。  
 数量を記入する欄ではtに換算して記入すること。（品目別重量換算係数一覧参照）